

署名とカンパありがとうございました

事務局長 小坂正則

遅ればせながらの決断

昨年 12 月 9 日の弁護士・原告団会議の中で、「署名をやってはどうだろうか」という意見が弁護団の A 弁護士から出ました。私は即座に「来年の 3 月に大分市議選が実施されるので、署名行動を行ってくれる労働組合などの組織が選挙で動けないと思います」と、否定的な発言をしました。そして「署名活動は 9 月の提訴と同時に年内に取り組みばよかった。もっと早く提案をしてくれたらよかったのに」と心の中でつぶやいていました。

そしたら、A 弁護士は「それでは大分市議選が終わった後にでも署名に取り組んでもいいのでは」と提案を取り下げる発言をしてくれて、この議論は終わったのです。弁護士の署名の提案を即座に否定した私は、会議が終わった後に、何か後味の悪い気持ちで一杯でした。その理由は『できない言い訳を探すのは簡単』だからです。まずは、『取り組むための議論をするべきだったのではないか』と反省したのです。それに仮処分が出た後では効果はないだろうから、やるなら今しかないと思ったのです。

寒い時期、大分市議選の真っ最中

実際には暮れも押し迫って、これから署名を行うための全体会議や組織などへのお願いなどの時間はありません。でも「年明け早々に署名案文を作ってしまうと何とかなるかもしれない」と考えました。そこで年明けの 1 月 6 日に全体会議を開いて、事務局のスタッフの皆さんの素早い取り組みで 13 日には署

名一式が出来上がりました。実際には 1 月の終わりから、3 月初旬までの 1 月足らずの短期間にもかかわらず、45,760 筆の署名が集まったのです。

ひとり一人の思いが込められている

裁判の会の皆さんに署名用紙を同封してお願いしました。別府の主婦の方は 1 人でご近所を廻って 100 筆以上の署名を集めてくれました。封筒にご家族全員の名前を書いて送ってくれたり、続々と署名入りの郵便が届きました。病院で取り組んでくれた医師もいました。県外からも 800 筆以上。フランスからも 17 筆の署名が送られてきました。

労働組合や生協の組織運動の見事さに感激

平和運動センターに集う労組の方々やグリーンコープをはじめとする生協などの協力が特に大きな力となりました。

集まった署名用紙の一筆一筆に「この裁判への皆さんの思いが込められている」ことを感じました。

100円カンパの総額約27万円に！

カンパ金は 269,934 万円集まりました。写真にありますように、署名用紙は 3 月 16 日の口頭弁論の前に大分地裁へ届けることができました。本当に皆さんありがとうございました。この署名の重みを裁判長は感じ取って仮処分の審尋に臨んで欲しいと切に願っています。



3 月 16 日裁判所に提出された
「伊方原発差止訴訟の公正な裁判を
要請する署名」45,760 筆